

うしおに 灯台 第2弾

うわじま こうかばさきぼう はていとうだい
『宇和島港樺崎防波堤灯台の巻』

1、灯台の現状



灯台の役割

船舶が安全に航行できるよう、海上の目印となることです。特に、夜間や悪天候時に、その光で位置を示し、危険な海域を避けるための重要な役割を果たします。

この、宇和島港樺崎防波堤灯台は、港の入り口を示すため防波堤の先端に建てた灯台です。

港の奥に向かって右側が赤、左側が白と決まっています。夜間は灯台の光の色によって遠くからも識別できるよう、右側の赤い灯台は赤色、左側の白い灯台は緑色の光を出しています。

2、「うしおに」のお面を中学生が『デザイン』してくれました。



今回、「うしおに灯台第2弾」のデザインを宇和島市内の中学校に依頼したところ、多数の応募作品がありました。

『応募してくださった皆さん、本当にありがとうございました。』

保安部職員による投票の結果、こちらの作品に決定しました。

『かわいい、うしおに灯台になりそうです！』

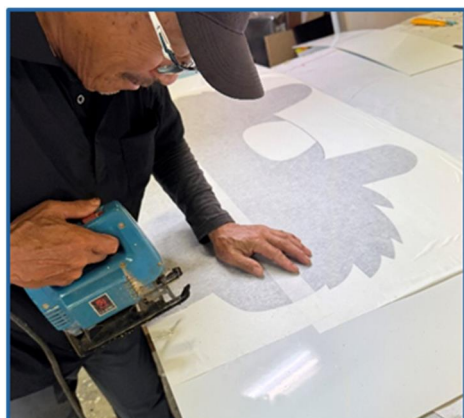
3、「うしおに灯台第2弾」製作開始！

「うしおに灯台第2弾」のデザインが決定しましたので、次は「うしおに」のお面を取り付ける「宇和島港榑崎防波堤灯台」において、お面の製作会社の担当者とともに、取り付け可能なサイズを測りに行きました。

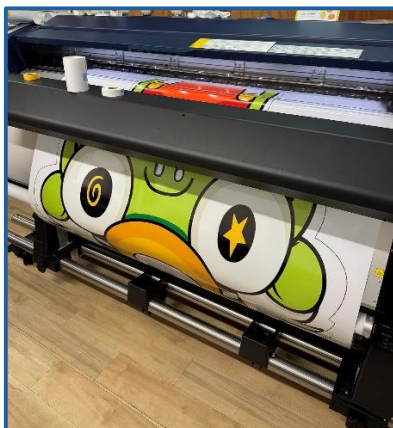
『当然、灯台の光を遮ってはいけません』



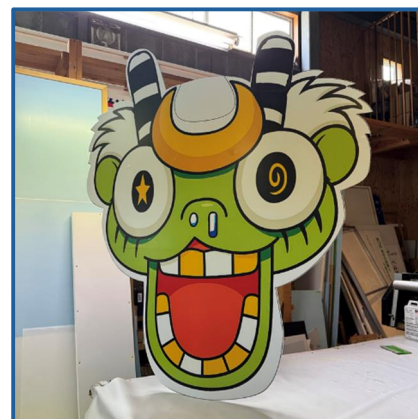
4、お面の製作（写真：製作会社提供）



お面の型に合わせてアルミ製の板を切断します。

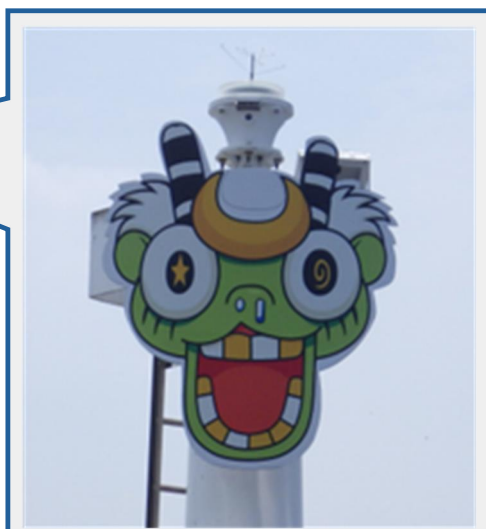


お面のデザインをシートに印刷します。



アルミ製の板に印刷されたシートを貼付けて完成です。

5、お面の取付け（写真：製作会社提供）



「うしおに灯台第2弾」のお面が完成しました。

さっそく、制作会社の作業員とともに、灯台へ取付けました。

『なかなか、かわいい顔になっています。』

6、胴体部の製作取付け

続いては、保安部の職員による「うしおに灯台」の胴体部分の製作に取り掛かりました。

材料はすべて保安部で保管しているものを使って創意工夫しました。

胴体には、小型のテントを使用しています。風で飛ばされないよう、しっかりと重しを付けました。



7、「うしおに灯台 第2弾」完成！



うしおに灯台 第1弾

『うしおに灯台第2弾』 完成しました。

来週7月22日～24日に開催される「うわじま牛鬼まつり」に間に合いました。

約3ヶ月の間、ご協力をいただいた皆様に御礼申し上げます。

この「うしおに灯台第2弾」は、第1弾とともに、**8月3日まで**展示する予定です。

お近くにお越しの際は、是非見に来てください。